



にじいろだより

2022年3月1日発行
香川県指定

子ども発達支援センターこがく

日々、厳しい寒さが和らぎ、春の陽気を感じられるようになってきました。
冬眠をしていた生き物たちも、活動を始める季節ですね。



未就園児 ～ 自分でやってみよう！！ ～

当事業所では、登所後の荷物の片づけやタオルを吊るす、衣服の着脱など、身辺自立に向けての練習を行っております。はじめは、保育者が促していましたが、1か月、半年、1年と、日が経つにつれて自分でしようとする姿が見られるようになってきました。

時には「自分でできるようになってきたな」と思っても、玩具に誘惑され、手が止まってしまったり、保育者に甘えてやってもらおうとしたりすることもあります。

しかしそんな時でも、保育者の少しの援助や、お友だちがしていることを見て、やる気につながる場合もあります。

できたことを認め「自分でやってみよう！」という気持ちをもてるよう、おうちでも見守ってあげてください。



～ 自分で考えてみよう！！ ～

年長児の個別療育時は、就学に向けプリントを用いた学習時間を取り入れています。

初めは、「これであってる？」「これって〇〇だよ？」とすぐに答えを聞いて保育者から「あってるよ！」という言葉を待っている子もいましたが、少しずつ、問題の形式にも慣れてきたのか「かんたん！かんたん！」と自信を持って取り組む姿が見られるようになってきました。

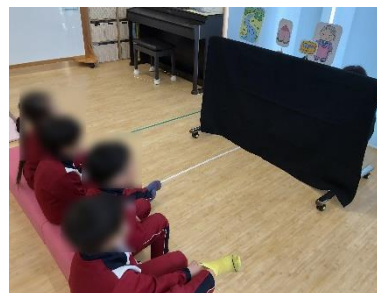
頭を悩ます問題に対しても、ヒントを伝えることで子どもたちが自分で考えて答えを考えるようになってきています。



ペープサートを使った 人形劇

※ペープサートとは、ペーパーパペットシアターを短縮した言葉。紙人形劇のこと。

2月後半の療育で「ももたろう」の人形劇を披露しました。
絵本や紙芝居と違って、ナレーションに合わせて登場人物が出てきたり、
音楽も流れたり。子どもたちの反応は、静かに見入っている子もいれば
「鬼が出た!!」と興奮する子など、本当に様々でした。



3月3日は「ひなまつり」

雛祭りは日本において女の子の健やかな
成長を祈る節句の年中行事であります。

ひな人形に桜や橘、桃の花など
木々の飾り、雛あられやひし餅
などを供え白酒やちらし寿司など
飲食を楽しむ節句祭りです。



3月の行事予定

- ・休所日
17日(木) .18日(金)
31日(木)

編集後記

今年度も残すところ1か月となりました。
3月に卒園される子どもたちをはじめ、園児たちのアルバムに
目を通してしていると懐かしい思い出がよみがえり、
成長を実感しています。

残りの一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



主任保育士 後藤 祐美

